

総合的な学習の時間学習指導案

指導者 広島市立古田中学校
教諭 日浦 悠貴

1. 日時 平成24年10月10日(水) 1校時 9:30~10:20
2. 学級 第1学年8組 34名(男子18名, 女子16名)
3. 場所 1年8組教室
4. 単元名 地球環境の課題を自分たちの生活をもとに考えよう
5. 単元について

(1) 単元観

地球温暖化、熱帯雨林の減少、オゾン層の破壊、異常気象による災害の発生、海面上昇による住居の浸水などの地球規模の環境問題は、依然として深刻な状況にある。これらは、決して私たちの住む地域と無関係ではなく、その解決に向けて、一人一人が環境保全に主体的に取り組むことが、これからは生きる生徒にも強く求められている。

本単元は、グローバルな視点で物事を捉え、今、そして将来に渡って「何ができるか」「何をすべきか」を自分のこととしてとらえ、その解決策を具体的に考えるものであり、本校の総合的な学習の時間の目標に掲げる「自己の生き方を考える」第一歩として適した単元といえる。

また、各教科との関連性も強く、生徒が各教科で学んだ知識・技能等を活用して探究を進めることで、思考力、判断力、表現力およびコミュニケーション力、実行力を育むことが期待できる。

(2) 生徒観

生徒は小学校の理科や総合的な学習の時間で、酸性雨やリサイクル等の身近な環境問題について学習しており、基礎的・基本的な知識はもっている。また、自分が興味や疑問をもったことをテーマとして設定し、調べ、まとめるといった「調べ学習」も経験している。しかし、地球規模での環境問題を自分自身のこととして捉えること、その解決に向けて自らの生活の在り方を見直し、日常的に実践することはできていない。探究活動においては、情報を収集することはできるが、それらを比較したり、関係付けて考えることは苦手である。

(3) 指導観

本単元の指導に当たっては、探究的な活動の4段階をもとに、自分の考えを根拠を明確にして表現し、問題解決に向けて行動化できるよう展開する。

課題を設定する場面では、地球環境の話題を身近な問題として捉えさせるとともに、自ら行動化できる課題を設定させるため、気象予報士とNGOで活動しているゲストティーチャーの話聞く場面を設定する。また、協同的な探究活動ができるよう、類似のテーマを設定した生徒でグループを編成する。情報収集の場面では、できるだけ多様な方法で多くの情報を集められるよう、グループで役割分担を行わせる。整理・分析の場面では、言語・数理運用科の手法を生かし、情報を整理・分類したり、比較したり、関連付けたりしながら協同的に分析させる。まとめ・表現の場面では、目的意識をもたせるとともに、多角的・多面的に提言の見直しを行わせるため、違う課題を設定した友だちとの意見交流会と韓国留学生と意見交流会を位置付ける。

最終的には二酸化炭素削減を中心とした節電、ゴミの減量、残食しないなど、自分の生活を見直し、日常的に自ら実行しようとする生徒となるよう指導していきたい。

6. 単元の概要

(1) 単元の目標

地球環境に関わる様々な問題を自分の日常生活と関連付けて考えることによって生じた関心や疑問を探究することで、根拠を明確にして自分の考えを表現する力を身に付けるとともに、環境問題に主体的に取り組もうとする。

(2) 単元で育てようとする資質や能力及び態度

【学習方法に関すること】

ア 地球環境の多様な課題の中から、自分が着目する課題を見いだす。

イ 課題に関する状況の事実や関係を把握し、いろいろな視点から分析する。

ウ 相手や目的，意図に応じて，筋道をたて，分かりやすく表現する。

【自分自身に関すること】

エ 目標を明確にし，課題解決に向けて主体的に取り組む態度を身に付けてる。

オ 課題解決に向けての提言を，行動にうつそうとする。

カ 自己の将来について，夢や展望をもち，生き方を考える。

【他者や社会との関わりに関すること】

キ 異なる意見や他者の考えを受け入れ，尊重する。

ク お互いの特性を生かし，協同して課題を解決する。

ケ 課題解決に向けて自ら行動し，社会貢献しようとする態度を身に付ける。

(3) 単元で学ぶ内容

ア 現代の国際社会の現状と多様な課題の存在

イ 地球環境の問題の実際と持続可能な社会創造のための取組内容

7. 単元の評価規準

観点	学習方法	自分自身	他者や社会とのかかわり
単元 の 評 価 規 準	① 環境問題に興味・関心をもち，解決すべき課題を見いだしている。 【(2) -ア, (3) -ア】	① 目標を明確にし，課題の解決に向けて主体的に取り組んでいる。 【(2) -エ, (3) -ア】	① 異なる意見や他者の考えを受け入れ，尊重している。 【(2) -キ, (3) -ア】
	② 環境問題に関する資料を収集し，それらを整理・分析して，自分の考えの根拠としている。 【(2) -イ, (3) -イ】	② 課題解決に向けて行動にうつそうとしている。 【(2) -オ】	② グループ学習を通して，意見を共有・交流し，お互いに考えを深めている。 【(2) -ク, (3) -イ】
	③ 自分の考えを提言としてまとめ，韓国の留学生にわかりやすく発信・共有している。 【(2) -ウ, (3) -ア】	③ 将来の社会に対して自分ができることを見いだそうとしている。 【(2) -カ】	③ 協同して問題を解決し，社会に貢献しようとしている。 【(2) -ケ (3) -イ】

8. 指導と評価の計画 (全15時間)

小単元名 (時数)	主な学習活動	評価規準及び主な評価方法
オリエンテーション (2時間)	<ul style="list-style-type: none"> 「みんなが幸せになる平和な社会」を目指して「総合的な学習の時間」の学習内容や「課題の設定→情報の収集→整理・分析→まとめ・表現」の探究の過程，ポートフォリオの大切さや進め方を知る。 3年間の学習の導入として，ゲストティーチャーのお話から「NGOが考える幸せ」や「平和とは何なのか」を知り，自分の考えを深める。 NGOの活動を知り，自分が感じたことや思ったことを学級で出し合い，私たちの身の回りや世界にはどんな課題があるのか考える。 	学 ② 自 ① 他 ① 観察による評価 ・行動観察 ・ワークシート

よう 温暖化と地球について考えよう (2時間)	課題の設定 <ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化の様々な問題について知り、何が課題なのかを考える。 ゲストティーチャーの話から地球環境に関わる様々な問題について知り、自分の考えを深める。 (G T 気象予報士 波田健一さん) マインドマップを利用して、温暖化と地球についてイメージを広げ、自分が取り組みたい課題を考える。 	学 ① 自 ① 他 ① ②	観察・制作物による評価 <ul style="list-style-type: none"> 行動観察<発言> マインドマップ ワークシート
課題を設定しよう (1時間)	課題の設定 <ul style="list-style-type: none"> 今まで学習したことをもとに自分が解決しなければならないと考える課題(研究テーマ)を決定する。 仮説や課題を解決する見通しを持って、意図的に自分の課題を見つけていく。 「～について」という表現ではなく、具体的に表現する。 	学 ② 他 ①	観察・制作物による評価 <ul style="list-style-type: none"> 行動観察 ワークシート
よう の課題解決のための情報を収集しよう (3時間)	情報の収集 (夏休みを含む) <ul style="list-style-type: none"> 平素のポートフォリオや文献、インターネット、新聞記事、インタビューなどから情報を収集する。 夏休みの情報収集計画を作成する。 (夏休みを利用して情報収集活動を行う) 	学 ② 自 ①	観察による評価 <ul style="list-style-type: none"> 行動観察 ポートフォリオ
調査結果を整理・分析しよう (2時間)	整理・分析 <ul style="list-style-type: none"> 収集した情報を取捨選択し、比較したり、整理・分類したりして提言の根拠を明確にする。 根拠となる資料をグラフや図で整理する。 	学 ② 自 ① 他 ②	観察・制作物による評価 <ul style="list-style-type: none"> 行動観察 ポートフォリオ
生に提言しよう (本時3/5時間)	まとめ・表現 <ul style="list-style-type: none"> グループの考えを提言としてまとめる。 韓国留学生との交流会に向けて、意見交流会で提言を相互評価し、提言の内容と説明方法の改善策を考える。 地球環境に関わる課題を解決するために私たちがすべきことは何なのか、韓国留学生に向けて発信し、意見交換をする。 韓国留学生からとの意見交流をもとに、提言を見直す。 	学 ③ 自 ② 他 ③	観察・制作物による評価 <ul style="list-style-type: none"> 行動観察 制作物 ワークシート 相互評価 <ul style="list-style-type: none"> 評価シート

9. 本時の展開

(1) 本時の目標

意見交流会で、提言内容と発信方法を相互評価し、自分たちの提言の内容と説明方法の改善策を考えることができる。

(2) 本時の観点別評価規準

- 発表者の提言内容と提言方法を評価し、改善策を示すことができている。
- 異なる意見や他者の考えを受け入れ、自分たちの提言の改善策を考えることができている。

(3) 準備物

発表原稿, 発表用資料, ワークシート, ストップウォッチ

(4) 学習展開

	学習活動	◇指導上の留意点 (◆個別の指導の手立て)	評価規準 【評価方法】
導 入	1. 本時のねらいを確認し, 見直しをもつ。	◇ 韓国人留学生との意見交流会の前に, 友だちと意見交流会を実施し, 自分たちの提言の内容と発信方法を見直すことを知らせる。	
	提言の根拠と説明の仕方を相互評価し, 自分たちの提言を見直そう。		
展 開	2. 評価の視点と方法を理解する。	◇ 次の視点で評価し, よさと改善策を考えることを説明する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・提言内容が理解できる。 ・提言の根拠を明確に示している。 ・資料を使って分かりやすい説明をしている。 </div>	
	3. 2グループがペアになって, 提言を相互評価する。 ○ 1グループが発表する。 ○ ワークシートを整理する。 ○ 3つの視点にそって意見交換する。 ※ 発表グループを交代して相互評価する。	◇ 各グループで司会者を決めさせ, 進行させる。 ◇ 発表を聞きながらワークシートにメモを取らせ, 後で整理させる。 ◇ 発表グループには, 予想される質問と回答を相談させる。 ◆ グループ内で, ワークシートが書けない生徒の支援をさせる。 ◇ 3つの視点にそって, よいところと改善点を具体的に議論しているか確認するとともに, 議論が進んでいないグループを支援する。	・ 相手グループの提言内容を3つの視点で評価している。 【行動観察】 【ワークシート】
	4. 相互評価を参考に, 自分たちの提言を検討し, 改善策を考える。 5 数グループが, 改善策を発表する。	◇ 3つの視点で検討させる。 ◇ 他のグループからもらった意見と改善策を発表させる。	・ 異なる意見や他者の考えを受け入れ, 自分たちの提言の見直しを図っている。 【行動観察】 【ワークシート】
ま と め	6. 学習を振り返るとともに, 次時の課題を知る。	◇ 生徒の学習状況进行评估する。 ・ 提言の根拠, 表現の仕方について具体的な評価ができた。 など ◇ 外国人留学生との意見交流会に向けて提言の見直しを図ることを伝える。	

組 グループ 名前

相手グループ

(4 : 大変よい 3 : よい 2 : 改善するともっとよくなる 1 : 改善すべきである)

評価の視点	評 価
① 提言内容を理解できる。	4 3 2 1
<よさ・改善策>	
② 提言の根拠を明確にしている。	4 3 2 1
<よさ・改善策>	
③ 資料を使って分かりやすい説明をしている。	4 3 2 1
<よさ・改善策>	

組 グループ 名前

相手グループ

--

<メモ> 発表を聞いて、気付いたことをメモしよう

--

<自分たちの提言の改善策を考えよう>

① 提言内容

--

② 提言の根拠

--

③ 説明方法

--